

紡ぐ 2 「学びのまち・吉岡」の推進

紡ぐ 2 ▶ ① 学校教育の充実

現況と課題

① 学校の施設整備を継続的に行っています

- ・ 学校施設の老朽化に伴い、トイレの改修や体育館の改築、給水管の改修等を進めています。
- ・ 児童生徒の増加に伴う学校施設全体の狭あい化が進んでおり、校舎の増築や教室の改修等を実施しています。

② 学校給食調理施設整備の方向性について検討を進めています

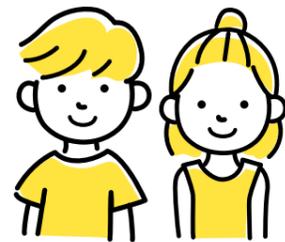
- ・ 学校給食センターは、長寿命化計画に則し維持補修を行うとともに、建て替えに向けて学校給食調理施設整備計画基本構想を策定しています。

③ 幼・保、学校、関係機関が連携し、児童の就学を支援しています

- ・ 園児の健全な育成と子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた就学支援のため、教育委員会と学校関係者が幼稚園・保育園を訪問するとともに、教育支援委員会や教育支援連携協議会の開催など、年間を通じて綿密な情報交換を行っています。
- ・ 個のニーズに応じた特別な支援を要する場合、電話や面談での相談事業も行っています。

④ 学校の教育活動を充実させる取組を行っています

- ・ 各校にマイタウンティーチャー※24・学習支援員を配置し、個に応じた指導を実現しています。
- ・ GIGA スクール構想に伴う、一人一台端末の整備活用事業を「HiBALI プラン」(Hill-town Basis toward the Active Learning Innovation) と銘打ち、推進しています。
- ・ ALT (外国語指導助手) や外国語活動指導補助員を配置し、語学学習や国際理解教育を進めています。
- ・ 各校へのスクールカウンセラー※25 の週1日程度の配置や、適応指導教室の開室により個別に悩みを抱える児童生徒の心のケアを行っています。
- ・ 教職員の多忙化解消を心掛け、児童生徒と向き合う時間を創出しています。



関連するSDGs



※ 24 小中学校における児童生徒の学習を補助する学習支援指導助手のことです。
 ※ 25 学校や家庭で不安を抱えている子どもや保護者に対して、面談などを通じて支援する心の専門家です。

取組

① 学校施設の計画的な整備の推進

- ・ 学校施設長寿命化計画に基づき、施設改修を含めた学校施設の充実を図ります。

② 学校給食調理施設整備の推進

- ・ 児童生徒に安全・安心でおいしい給食を提供するため、新たな学校給食調理施設の整備を進めます。

③ 幼児教育との連携

- ・ 一人ひとりのニーズに応じた支援を行うため、庁内連携を一層深めるとともに、幼・保と小学校との縦の連携を強化し、遊びや体験を重視した幼児教育から小学校教育へのスムーズな移行を図ります。

④ 新しい時代の学校教育の確立

- ・ 児童生徒の心身の健康を守り、安全・安心を確保し、新しい時代にマッチした学校教育を推進します。
- ・ 「個別最適な学び」の実現に向け、個に応じた指導を一層充実するため、マイタウンティーチャーや学習支援員の増員を図ります。
- ・ ICT※26 機器を日常的に活用した新しい学びを取り入れ、「個別最適な学び」、「協働的な学び」の実現に努め、児童生徒の学力の一層の向上を目指します。
- ・ ALT や外国語活動指導補助員による語学学習や国際理解教育を充実し、国際感覚の豊かな人材の育成を図ります。
- ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー※27 を最大限活用し、子どもを取り巻く心理及び環境の改善に力を入れます。
- ・ ヤングケアラーへの支援を行うため、現状把握などの取組を進めます。
- ・ 教職員の多忙化解消を推進することによりメンタルヘルスを良好な状態に保ち、児童生徒と向き合える時間を増やします。
- ・ 学校運営協議会の議論等を踏まえ、学校と地域が連携して児童生徒の育成に取り組みます。

達成目標

指標名	単位	令和2年度 (実績)	令和8年度 (目標)	目標指標の測定 あるいは取得の方法
④ 支援員・マイタウンティーチャー数	人	21	25	町費支援員の延べ数
④ スクールカウンセラーの勤務日数	日	91	120	勤務日数

関連する 個別計画	吉岡町学校施設長寿命化計画	吉岡町第2期子ども・子育て支援事業計画
	吉岡町学校給食センター個別施設計画	吉岡町教育振興基本計画
	吉岡町学校給食調理施設整備計画基本構想	

※ 26 「Information and Communication Technology」の略で、「情報通信技術」と訳され、IT「Information Technology」に情報・知識の共有「Communication」の要素が加えられたものと言えます。
 ※ 27 子どもたちが抱えている複雑な問題を整理し、福祉の立場から解決策を探し、学校や関係機関と連携して問題を抱える子どもの環境の改善を図る福祉の専門家です。

紡ぐ2 ▶ ②生涯学習・スポーツ・文化活動の推進

現況と課題

① 生涯学習を推進しています

- ・子ども向けや親子向け等各世代に対応した講座を行っています。
- ・「よしおか手作り講座」を通し、住民が講師になることで生きがい、教えることから学ぶことができる機会を提供しています。
- ・北海道大樹町との友好都市協定の締結をきっかけに、町の小学生が夏休みを利用して自然体験活動、社会体験及び宿泊体験活動を実施しています。

② スポーツ・レクリエーション活動の推進を図っています

- ・各種大会を開催し、スポーツをする機会を提供しています。
- ・スポーツ推進員による軽スポーツの普及活動を行っています。

③ 自主グループ活動を支援しています

- ・文化協会団体や愛好会の活動場所として公民館、文化センターが活用されています。
- ・作品展示や活動発表のために、展示ギャラリーや、ホールの貸出しを行っています。
- ・講座をきっかけに自主グループを形成し、愛好会から文化協会団体へ加入する団体があります。

④ 生涯学習施設の整備・維持管理をしています

- ・住民が安心・安全に活動できる生涯学習施設の環境整備を行っています。
- ・各施設の長寿命化計画に基づき、住民に長く愛される施設整備に取り組んでいます。

⑤ 文化芸術を発信しています

- ・親子向け、一般向けのホール事業及び映画上映を実施しています。

⑥ 町の歴史と魅力を発信しています

- ・文化財センターにおいて、歴史遺産や歴史的景観を映像やパネルで紹介しています。
- ・歴史遺産や歴史的景観を保全するとともに、文化財映像を作成、配信することにより、町の魅力度向上に努めています。

⑦ 読書活動の推進をしています

- ・ブックスタートや読み聞かせなど、乳幼児期から親子で本に親しむ取組を行っています。
- ・マイナンバーカードに図書館利用カードの機能を搭載し、利用者の利便性向上に寄与しています。

取組

① 生涯学習の充実

- ・子ども向けや親子向け等各世代に対応した講座の充実を図り、学習機会を提供します。
- ・社会生活やまちづくり活動に役立つ学習講座の開設を目指します。
- ・住民が講師や受講者になり、「学び」、「教える」楽しさを提供します。
- ・北海道大樹町との子ども交流事業を継続するとともに、直接訪問ができない場合においても交流ができる方策を実施します。

② スポーツ・レクリエーション活動の充実

- ・各種大会の参加者を増やし、スポーツしやすい気運を高めます。
- ・スポーツ推進員による地域住民への軽スポーツの普及活動を促進します。

③ 各種団体の活動支援

- ・文化団体の展示・発表等に係る活動場所として公民館や文化センターを提供します。
- ・自主グループの形成を促すほか、文化団体の活動支援を行います。
- ・スポーツを通して青少年の心と体を育てるため、スポーツ少年団の充実を図ります。

④ 生涯学習施設の整備・維持管理

- ・生涯学習施設の長寿命化計画に基づき、必要な整備と維持管理を進めます。
- ・八幡山グラウンド拡張事業基本計画の再検討を進めます。

⑤ 文化芸術の発信

- ・ホール施設で自主事業を行うことで臨場感を味わい、心豊かな時間を提供します。
- ・芸術文化の鑑賞の機会を提供します。

⑥ 町の歴史と魅力の発信

- ・文化財のデジタル化を進め、保存・活用を推進します。

⑦ 読書推進活動事業の充実

- ・身近な図書館を目指し、子どもから高齢者までが楽しめる図書館環境の充実を図ります。
- ・図書館通帳を活用し、読書意欲を促します。

達成目標

指標名	単位	令和2年度 (実績)	令和8年度 (目標)	目標指標の測定 あるいは取得の方法
① 関係講座の開催数	回	30	40	年間の講座回数
② 町民大会の参加人数	人	839	1,000	町民大会参加人数
③ 文化センター施設貸館利用回数	回	946	1,500	施設貸出回数
⑥ 文化財センター来館者数	人	1,113	1,500	来館者数
⑦ 図書館貸出し人数	人	34,157	40,000	利用カウンター

関連する
個別計画

吉岡町教育振興基本計画

八幡山グラウンド拡張事業基本計画

関連するSDGs



紡ぐ2 ▶ ③多文化共生社会の実現

現況と課題

① だれもが尊重される環境整備に努めています

- ・ 社会情勢や人口増加を背景に、住民の多様性が進んでいます。
- ・ 一人ひとりの個性が活かされるよう、専門家による相談体制を確保しています。
- ・ ゲートキーパー※28 研修を実施しています。
- ・ 幸せに生きる上で誰もが持っている権利である「人権」に関して、人権擁護委員による人権相談や弁護士による無料法律相談を実施しています。
- ・ 人権作文集の作成と全戸配布により、人権啓発をしています。

② 男女共同参画意識の高揚を図っています

- ・ 男女共同参画基本計画に基づき、性別にとらわれることなく平等・対等に参画できる社会の実現のため、啓発等を行っています。
- ・ 男女が共に家事、子育て、介護を担えるよう、ワーク・ライフ・バランスの普及に努めています。
- ・ 学校では男女混合名簿の導入や男女共同参画啓発資料等を活用した学習が始まっています。
- ・ 多様化する行政ニーズの政策決定において、有能な女性職員の管理職登用が必要とされています。

③ DV※29 の防止に努めています

- ・ 配偶者やパートナーなどからの暴力を防止するため、住民への啓発や相談等支援を行っています。

④ いじめ問題をなくす取組を学校で行っています

- ・ 学校で「いじめ防止基本方針」を作成し、人権集会等の行事やアンケートの実施により、いじめをなくす取組を行っています。
- ・ いじめ問題を無くすために、人権教育、道徳教育に関わる授業を実施しています。

⑤ 行政情報を発信しています

- ・ 町ホームページに、英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語に対応する Web サイト自動翻訳サービスを導入しています。
- ・ 新型コロナウイルス感染症など行政情報の提供に関し、県・関係団体と連携を図っています。

関連するSDGs



※ 28 悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことを言います。
 ※ 29 「Domestic Violence」の略称で、配偶者やパートナーなど親密な関係にある、又はあった者から振るわれる身体的暴力、精神的暴力、性的暴力、経済的暴力を指します。交際中のパートナー間でおこる暴力をデートDVと言います。

取組

① だれもが尊重される環境づくり

- ・ 住民が、それぞれの立場や属性等を理解し、受け入れ、尊重し合うまちづくりを目指します。
- ・ 性の多様性等、社会環境の変化に対し、「パートナーシップ宣誓制度」の導入などを進め、性別にとらわれない、個性を尊重する社会の実現を目指します。
- ・ 発達特性や精神疾患の理解を深められるような啓発活動に取り組みます。
- ・ 集団の中や日常生活がづらいと感じた時に相談できる場所の周知に力を入れます。
- ・ 自殺に結び付く行動を周囲の人が気づき、必要な支援につなげることができるよう、ゲートキーパー研修を広げます。
- ・ インターネットでの誹謗中傷など人権侵害の幅が大きくなっており、学校での情報モラル教育の充実、相談機関等の周知やPRに努めます。
- ・ 人権尊重の啓発促進を図ります。

② 男女共同参画社会の実現

- ・ 住民が尊重し合い、仕事や家庭生活、地域活動などへ共に参画できる社会を実現するため、学校教育における理解促進や生涯学習の充実、労働環境に対する支援、ワーク・ライフ・バランスの環境整備のほか、男女共同参画推進条例(仮称)の制定を含めた取組を進めます。
- ・ 職員の働く環境の整備と女性管理職の登用にに向けた意識改革を進めます。

③ DV被害者の支援体制の更なる充実

- ・ 研修会等に参加・開催することにより、若年層を含め、あらゆる世代への啓発を推進し、DVの防止に努めます。
- ・ 関係機関との連携を強化するとともに、相談支援体制のさらなる充実を図ります。

④ いじめを許さない心を育む人権教育の充実

- ・ 児童生徒一人ひとりの心の様子や悩みを早期に把握する仕組みを作ります。
- ・ 児童生徒自らがいじめに関する課題を「提起」し、「考え」、「取り組む」行事や授業などが組み込まれた教育課程を各校で編成します。

⑤ 行政情報の発信強化

- ・ 行政情報の提供を継続するとともに、町ホームページや道の駅等における多言語化を促進し、外国人を温かく迎え入れるまちづくりを進めます。

達成目標

指標名	単位	令和2年度(実績)	令和8年度(目標)	目標指標の測定あるいは取得の方法
① ゲートキーパー研修参加者数	人	未開催	120	参加者数
② 町管理職の女性割合	%	29.0	30.0	年度末の管理職の割合
③ DVの防止に係る研修会の開催又は参加回数	回	3	5	年間における研修会の開催又は参加回数

関連する個別計画	吉岡町健康づくり計画	吉岡町自殺対策行動計画
	第2期吉岡町地域福祉計画	吉岡町男女共同参画基本計画
	吉岡町特定事業主行動計画	吉岡町教育振興基本計画